

新型コロナウイルス感染症が疑われる者が発生した場合の施設の対応（入所施設）

※協力医療機関へ相談・保健所等の指示に従うこと

※県では、濃厚接触者等になった介護職員、介護が必要な高齢者等に対しては可能な限りの検査の実施を通知

発生した場合速やかに

情報共有・報告

・保健所等に設置されている「帰国者・接触者相談センター」※に電話連絡・指示を受ける
 ・施設長等へ報告し、施設内で情報共有する（法人内で複数の施設、事業所に勤務している者等がいる場合は特に注意が必要）
 ・保健所等の指示に従い、入所者等の濃厚接触者の特定に協力する
 ・指定権者へ報告する（衛生物品等の支援の必要性を含む）
 ・利用者家族等へ報告する
 ※「帰国者・接触者相談センター」は、県内8か所の県保健福祉事務所・センター（電話：045-285-1015 24時間対応）のほか、保健所設置市に設置されている。

消毒・清掃等

感染が疑われる方の居室や、利用した共有スペース、濃厚接触したと思われる他の利用者及び職員が活動するすべてのスペースをゾーニングし消毒・清掃

【手順】

・手袋、ゴーグル、エプロン等を着用（使用後廃棄もしくは消毒措置を実施）し、消毒用エタノール等で清拭、又は次亜塩素酸ナトリウム液で清拭後、湿式清掃し乾燥
 ・保健所等の指示に従うこと。

濃厚接触が疑われる利用者の特定・職員の特定

【考え方】

施設の入所者すべてが感染が疑われるため、感染者と同様の対応が必要であるが、特に

- ・同室又は長時間の接触
- ・適切な感染の防護無しに診察、看護、介護を行った
- ・気道分泌液若しくは体液、排泄物等に直接接触した可能性が高い等

に該当する者については特段の注意を要する。

感染が疑われる者・濃厚接触が疑われる者への対応

利用者の場合

診断結果の確定まで

- ・感染者との最終接触から14日間健康観察を行うことが原則。詳細な期間や対応については保健所の指示に従う。
- ・原則個室に移し、居室内で生活を完結する。不可能な場合には、感染が疑われる者（当該者と濃厚接触した者も含む）とそれ以外の利用者と時間や使用スペースを明確に区分けし、対応する。
- ・感染が疑われる者・濃厚接触者と、それ以外の利用者に対応する職員を明確に区分けし対応する。
- ・居室・共有スペース等の換気、消毒を行う。（職員は手袋・マスク・ゴーグル・エプロン等を使用（代用品可）し、使用後は廃棄もしくは消毒措置
- ・ケアの開始時と終了時に、液体石鹸と流水による手洗い又は消毒用エタノールによる手指消毒を徹底。
- ・急激な体調悪化の可能性があるので、頻回に体調チェック（検温、血圧、呼吸様態、酸素濃度等）が必要。

職員の場合

- ・保健所等により濃厚接触者とされた職員については、感染者との最終接触から14日間健康観察を行うことが原則となるが、詳細な期間や対応については保健所の指示に従うこと。
- 風邪症状、発熱、のどの痛み、強い倦怠感等症状がある場合
- ・自宅待機の上、保健所の指示に従う。
- 症状がない場合
- ・所定の期間については感染が疑われるため、自宅待機する。
- ・職場復帰時期については、保健所と相談のうえ、疑われる職員数等の状況も踏まえ対応する。
- ・その他、過去の行動記録を確認し濃厚接触者を確認

その他

- ・濃厚接触者の調査の結果等により、ケアを保障するための人員不足が見込まれる場合、同一法人の介護サービス事業所からの応援も含め、速やかに職員の確保等の対応を検討する。

※詳細は厚生労働省からの通知をご参照ください